

Case 34-2006: A 72-Year-Old Woman with Nausea Followed by Hypotension and Respiratory Failure
(New England Journal of Medicine 2006;355:2022-31)

#1 吐き気、食欲不振から始まる全身症状

吐き気は入院 2 日前に出現し、早朝に眼が覚めるほどの強さであった。その後に悪寒、発汗、不快感、頭のおらつきや歯の痛みと様々な症状が出現している。

#2 呼吸器症状

#2-1 自覚症状

入院前の週から症状がある。入院 2 日前からは咳が乾性から黄色痰を伴うようになった。

#2-2 他覚所見

両側で呼吸音が減弱し crackles を聴取する。胸部 X 線では両側の透過性低下。低酸素血症。

#3 低血圧

7ヶ月前に TIA を起こした際には血圧 163/72mmHg であったが、今回入院時には 90/50mmHg、輸液や昇圧剤への反応が悪く昇圧剤を使用しても MGH 入院時は 92/41mmHg の低血圧。

#4 心所見

S3 ギャロップ、心尖部から腋窩部に放散する 2/6 度の全収縮期雑音。

心電図では洞性頻拍と、I・aV_L 誘導で 2mm の ST 上昇、II・III・aV_F 誘導で 2mm の ST 下降。